

# 週目点

川本 裕子 早稲田大学教授



## ▶ JR東日本など禁煙に 喫煙率低下、国民的努力を

JR東日本とJR北海道が十八日、すべての新幹線と特急を原則全面禁煙にする。歓迎すべきだが日本の現状に照らせば国民全体での一層の努力が必要だ。

世界保健機関（WHO）によれば、二〇〇二年の日本の喫煙率は男性で約五三%。先進国平均の約三七%よりも格段に高い。男性の喫煙率は低下傾向だが、一人当たりたばこ消費量は高止まり。女性の喫煙率増加も心配だ。

WHOは先進国における主要な死亡要因の一つとして喫煙をあげている。特に、働き盛りの男性の死亡要因の三分の一が喫煙だ。周辺への健康被害も懸念される。

しかし日本のたばこ広告規制では外国と比べて危険性を伝える警告内容が弱い。税込み価格も他の先進国に比べればかなり安い。医療費増加が懸念される今日、消費者に十分な健康リスク情報を示し、警告に値する価格を提示すること、喫煙率を国際的水準に合わせていくべきだろう。

(C) 日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。